

Casting  Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ



Financial Report

第 87 期 中間報告書

平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日



Ahresty

株式会社 アーレスティ

証券コード：5852



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research(研究・開発)、Service(サービス)、Technology(技術)において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。

なお、“Casting”は、“投げかける”という意味の他に、当社の主要事業である“Die Casting”の意味も込めています。

タグライン：タグラインは、アーレスティブランド、企業理念を社内外へ発信する究極的なメッセージであり、コーポレートシンボルとセットで使われる言葉です。

[a:resti]

これからは、より質の高い
Research, Service, Technologyを
追求していきます。

アーレスティはR・S・T、Research、Service、
Technologyこれらの三つの言葉の統合ですが、
Rは単に研究・開発だけでなく、
どうしたらもっとお客様のお役にたてるかの創意と探求、
Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、
お客様とのすべての接点で、
そしてTはこのRとSをささえる知識と
技術を考えています。
この社名に込められた企業理念を大切に生かし、
様々な製品を通して、
広く社会のお役に立ちたいと願っております。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
経営基本方針	3
コンプライアンス基本方針	4
環境方針	4
事業の概況	5
事業別の概況	6
連結財務諸表	7～8
単体財務諸表	9～10
トピックス	11
社会貢献活動	11
株式情報	12
会社の概要	13
株主メモ	14

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに、第87期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)の事業の概要につきまして、ご報告いたします。

今後とも事業の発展に全力を尽くしてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申しあげます。

平成19年12月



代表取締役社長

高橋 新

常に生きいきと活動し理論と実験と創意と工夫を尊重して、
品質のすぐれた製品と行き届いたサービスを提供しよう

(1) 経営の基本方針

当社の社名アーレスティは、ResearchのR、ServiceのS、TechnologyのTを続けて読んだものであります。Researchとは絶えることのない新技術・新市場・新しい販売方法の開発・研究調査、Serviceとは人と人とのふれあいのなかで本当に行き届いた温かいサービス、Technologyとは世の中に役立つ真によいものをハードとソフトも含めて創っていく技術を意味します。このRとSとTは、お互いに深く支え合いながら、お互いをよりすばらしいものへと磨きあっていくという有機的な関係にあります。私たちは、このような考えのもとにResearch、Service、Technologyを統合した思想を企業理念として「アーレスティ」を社名としております。

2005年に新しく策定した「アーレスティ10年ビジョン」では『「すべてのステークホルダーから信頼される企業」をめざす』ことを基本の方針とし、顧客・株主/投資家・従業員・取引

先・社会の5つの利害関係者の視点に立って「信頼される企業」となるためにはどうすべきかという観点であるべき姿を描き、具体的な指針・手段として方針を定めております。この10年ビジョンをベースに中期経営方針(0507 3ヵ年アーレスティ方針)では、より具体的な施策・目標値を設定し、さらに部門方針へと展開して全社的な方針管理活動を推進しております。なお、10年ビジョンについては、進捗状況および環境変化等の理由から方向性は保ちつつも個別の目標値などを改訂し2007年版「アーレスティ10年ビジョン」とし、中期経営方針についても次期の08-10の3ヵ年を見据えて0507中期経営方針を改訂しております。

(2) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主をはじめとするすべてのステークホルダーに対する経営責任と説明責任を明確にするとともに、高い透明性を伴った経営体制を確立することで、当社グループ全体での収益力の拡大と企業価値の増大を目指しております。さらには内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グループ

子会社の事業活動についても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しております。

コンプライアンス基本方針

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、この基本方針を制定し役員および従業員は、自らの行動または業務遂行のための行動において、これを遵守します。

- 1 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- 2 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- 3 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- 4 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- 5 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- 6 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- 7 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- 8 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- 9 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- 10 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。

環境方針

かけがえのない地球を守るのは私たちの大切な役割です。株式会社アーレスティの環境への取組みをご紹介します。

- 1 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地域環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
 - 2 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取組みます。
 - 3 私たちは特に次の事項について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取組みます。
 - ①大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
 - ②廃棄物の再資源化100%を維持します。
 - ③廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
 - ④CO₂排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
 - ⑤環境に配慮した製品および商品の開発・設計に取組みます。
 - 4 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的にを行います。
 - 5 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。
- ～私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします～

事業の概況

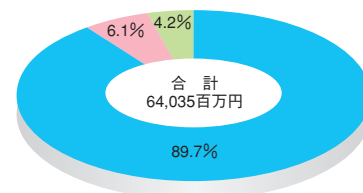
■企業集団の事業の経過および成果

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や需要の増加等を受けた設備投資の増加と、雇用情勢の改善もあり回復基調で推移いたしました。海外においては、米国経済は金融面の懸念はあるものの消費の緩やかな増加や設備投資に支えられ景気は拡大し、中国においても引き続き景気の拡大が続きました。

このような状況のなかで、当社グループは積極的な売上げの拡大と国内外設備増強を進めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高64,035百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益3,137百万円（同13.9%減）、経常利益3,337百万円（同8.1%減）、中間純利益1,631百万円（同19.1%減）となりました。

■事業別売上の状況

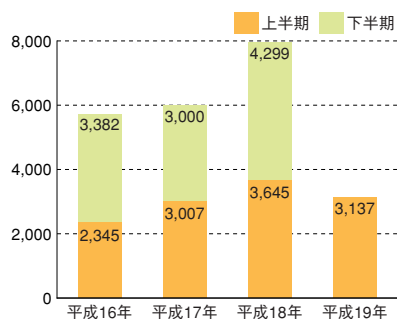


ダイカスト	57,429百万円
アルミニウム	3,908百万円
完成品	2,697百万円

■業績の推移 (連結)

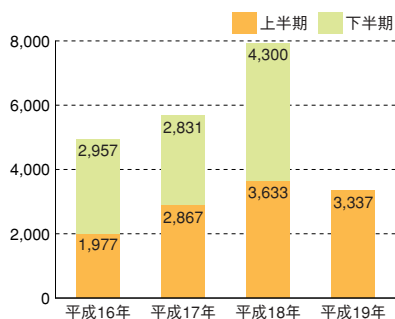
■営業利益

(単位:百万円)



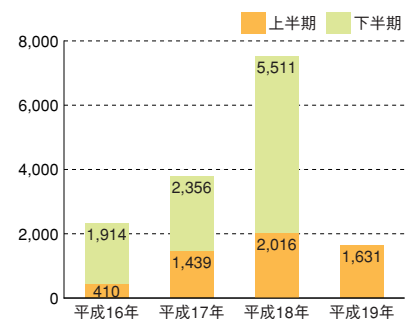
■経常利益

(単位:百万円)



■当期純利益

(単位:百万円)

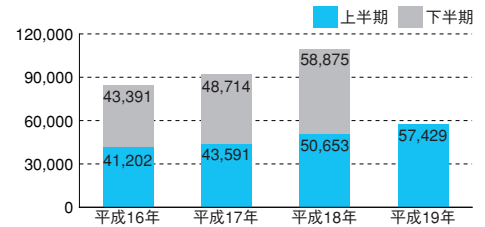


事業別の概況

ダイカスト事業

ダイカスト事業におきましては、主力の自動車部品は、サプライムローン問題など北米市場の不透明さはあるものの、日系メーカーの強みである燃費の良い中小型車の拡販につながり、売上高は57,429百万円(前年同期比13.4%増)となりました。収益面においては、生産性向上活動、原価低減活動ならびに販管費の削減に努めたものの、税制改正に伴う減価償却費の負担増や一部の連結子会社の生産性の悪化により、営業利益は2,636百万円(同20.3%減)となりました。

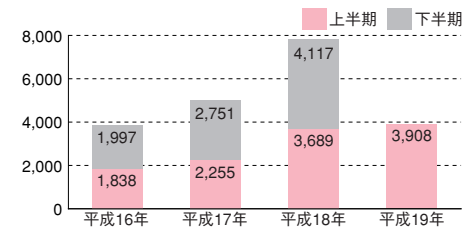
■売上高(連結) (単位:百万円)



アルミニウム事業

アルミニウム事業におきましては、アルミニウム地金の販売重量が前年同期に比べほぼ横ばいの0.6%増となりましたが、原料市況の上昇に伴い販売価格が強含みで推移したため売上高は3,908百万円(前年同期比6.0%増)となりました。また、収益面においては、高品位製品の増加に伴う収益性の向上により、営業利益は268百万円(同49.0%増)となりました。

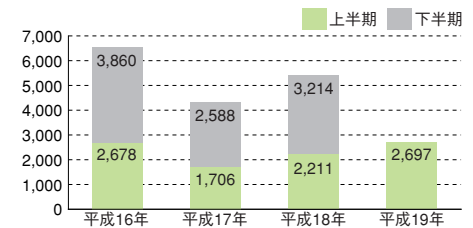
■売上高(連結) (単位:百万円)



完成品事業

完成品事業におきましては、アルミパネルに特化していく方針により、アルミパネルの売上高は2,008百万円(前年同期比40.5%増)となりました。これはIT関連・クリーンルーム床の売上高増が寄与したものであり、全体では売上高は2,697百万円(同22.0%増)となりました。また、収益面においては、利益率管理の営業活動の結果、営業利益は235百万円(同49.6%増)となりました。

■売上高(連結) (単位:百万円)



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期		前中間期		科 目	当中間期		前中間期	
	平成19年9月30日現在		平成18年9月30日現在			平成19年9月30日現在		平成18年9月30日現在	
資産の部					負債の部				
流動資産	47,854		45,277		流動負債	47,967		43,869	
現金及び預金	3,870		4,425		支払手形及び買掛金	27,324		26,372	
受取手形及び売掛金	31,451		28,428		短期借入金	6,590		5,277	
たな卸資産	10,366		10,448		1年以内返済予定の長期借入金	4,056		2,784	
繰延税金資産	1,174		1,106		1年以内償還予定の社債	700		300	
その他	1,000		871		賞与引当金	1,445		1,524	
貸倒引当金	△ 9		△ 2		役員賞与引当金	18		18	
					その他	7,830		7,592	
固定資産	58,519		49,569		固定負債	12,339		12,126	
有形固定資産	48,409		39,465		社債	—		700	
建物及び構築物	9,345		8,178		長期借入金	3,673		4,284	
機械装置及び運搬具	21,771		17,937		繰延税金負債	4,086		2,653	
工具器具備品	5,246		4,044		退職給付引当金	3,147		2,574	
土地	6,710		6,367		役員退職慰労引当金	195		217	
建設仮勘定	5,335		2,937		負ののれん	1,127		1,575	
無形固定資産	973		1,084		その他	109		121	
投資その他の資産	9,135		9,019		負債合計	60,307		55,996	
投資有価証券	7,834		8,028		純資産の部				
長期貸付金	2		2		株主資本				
繰延税金資産	540		286		資本金	5,117		5,117	
その他	773		709		資本剰余金	8,361		8,303	
貸倒引当金	△ 15		△ 7		利益剰余金	29,535		22,898	
					自己株式	△ 55		△ 64	
					株主資本合計	42,960		36,254	
					評価・換算差額等				
					その他有価証券評価差額金	2,958		2,920	
					為替換算調整勘定	99		△ 427	
					評価・換算差額等合計	3,057		2,492	
					新株予約権	49		—	
					少数株主持分	—		103	
					純資産合計	46,066		38,850	
資産合計	106,373		94,846		負債純資産合計	106,373		94,846	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
営業収益	64,035	56,554
営業費用	55,842	48,621
営業利益	8,193	7,933
営業外収益	454	469
受取配当金	10	2
受取配当金のれん償却額	113	57
持分のによる投資利益	224	169
その他	—	146
営業外費用	106	94
支払利息	253	481
その他	179	142
経常利益	74	339
特別利益	3,337	3,633
固定資産売却益	79	73
関係会社株式売却益	17	0
国庫補助金収入	59	44
貸倒引当金の戻入	—	24
その他	1	0
特別損失	0	3
固定資産除売却損	814	195
固定資産圧縮損	80	67
減損損失	—	18
退職慰労金	14	104
退職給付費用	1	4
退職給付補償費用	600	—
退職品給付補償費用	116	—
税金等調整前中間純利益	2,602	3,511
法人税、住民税及び事業税	1,435	1,402
法人税等調整額	△ 464	88
少数株主利益	—	3
中間純利益	1,631	2,016

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当中間期 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日 残高	5,117	8,359	28,208	△ 53	41,632	3,045	△ 111	2,934	29	44,596
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 304		△ 304					△ 304
中間純利益			1,631		1,631					1,631
自己株式の取得				△ 4	△ 4					△ 4
自己株式の処分		2		2	4					4
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△ 87	210	123	19	142
中間連結会計期間中の変動額合計	—	2	1,326	△ 2	1,327	△ 87	210	123	19	1,470
平成19年9月30日 残高	5,117	8,361	29,535	△ 55	42,960	2,958	99	3,057	49	46,066

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

単体貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期		前中間期		科 目	当中間期		前中間期	
	平成19年9月30日現在		平成18年9月30日現在			平成19年9月30日現在		平成18年9月30日現在	
資産の部					負債の部				
流 動 資 産	38,213		36,069		流 動 負 債	40,054		37,454	
現金及び預金	1,847		2,042		支 払 手 形	6,223		5,534	
受 取 手 形	3,493		3,527		買 掛 金	15,040		15,910	
売 掛 金	24,863		22,394		短 期 借 入 金	4,500		3,100	
た な 卸 資 産	4,927		5,519		1年以内返済予定の長期借入金	3,702		1,855	
繰 延 税 金 資 産	555		475		1年以内償還予定の社債	700		300	
未 収 入 金	1,047		1,069		預 り 金	5,566		6,284	
そ の 他	1,484		1,040		賞 与 引 当 金	933		766	
貸 倒 引 当 金	△ 6		△ 0		役 員 賞 与 引 当 金	16		15	
					設 備 関 係 支 払 手 形	660		876	
固 定 資 産	43,218		36,531		そ の 他	2,711		2,810	
有 形 固 定 資 産	16,892		13,601		固 定 負 債	7,342		7,552	
建 物	3,586		2,745		社 債	—		700	
機 械 及 び 装 置	4,340		3,589		長 期 借 入 金	2,305		3,072	
工 具 器 具 備 品	2,885		2,393		繰 延 税 金 負 債	2,857		1,618	
建 設 仮 勘 定	2,234		1,050		退 職 給 付 引 当 金	2,048		2,020	
そ の 他	3,845		3,822		役 員 退 職 慰 労 引 当 金	118		141	
無 形 固 定 資 産	277		281		そ の 他	13		—	
投 資 其 他 の 資 産	26,048		22,648		負 債 合 計	47,397		45,007	
投 資 有 価 証 券	6,764		6,779		純資産の部				
関 係 会 社 株 式	16,732		15,390		株 主 資 本				
そ の 他	2,566		485		資 本 金	5,117		5,117	
貸 倒 引 当 金	△ 15		△ 7		資 本 剰 余 金	8,180		8,177	
					利 益 剰 余 金	17,857		11,443	
					自 己 株 式	△ 55		△ 48	
					株 主 資 本 合 計	31,099		24,690	
					評 価 ・ 換 算 差 額 等				
					そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	2,885		2,903	
					評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	2,885		2,903	
					新 株 予 約 権	49		—	
資 産 合 計	81,431		72,601		純 資 産 合 計	34,034		27,593	
					負 債 純 資 産 合 計	81,431		72,601	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 単体損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期		前中間期	
	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで		平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	
営業収益				
売上		52,361		48,563
営業費用				
売上原価		47,551		43,720
販売費及び一般管理費		3,213		2,940
営業利益		1,595		1,902
営業外収益				
受取利息及び配当金		238		165
その他		116		76
営業外費用				
その他		122		89
支払利息		140		298
その他		79		56
経常利益		60		242
特別利益		1,694		1,769
固定資産売却益		372		45
関係会社株式売却益		17		0
その他		355		—
特別損失				
固定資産除売却損失		0		44
減損損失		176		144
退職慰労金		58		40
製品補償費用		—		104
その他		1		0
税引前中間純利益		116		—
法人税、住民税及び事業税		1,890		1,669
法人税等調整額		629		732
中間純利益		△ 95		△ 34
		1,356		971

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 単体株主資本等変動計算書 当中間期 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本							評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	その他利益 剰余金						
平成19年3月31日 残高	5,117	8,177	—	393	16,411	△ 53	30,047	2,963	2,963	29	33,041
中間会計期間中の変動額											
剰余金の配当					△ 304		△ 304				△ 304
中間純利益					1,356		1,356				1,356
自己株式の取得						△ 4	△ 4				△ 4
自己株式の処分			2			2	4				4
株主資本以外の項目の中間会計 期間中の変動額 (純額)								△ 78	△ 78	19	△ 58
中間会計期間中の変動額合計	—	—	2	—	1,051	△ 2	1,052	△ 78	△ 78	19	993
平成19年9月30日 残高	5,117	8,177	2	393	17,463	△ 55	31,099	2,885	2,885	49	34,034

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

Topics

- 2007年8月 メキシコ（アーレスティメヒカーナ）において、自動車部品の量産を開始しました。
当初計画より、1ヶ月前倒して量産が立上り、順調に稼働しています。
- 2007年5月 アーレスティインディアは、インドニューデリー近郊において、工場建設に着手しました。
2008年秋量産開始をめざしています。

社 名：Ahresty India Private Limited
所 在 地：ハリヤナ州バワル
敷地面積：58,500㎡
建屋面積：5,712㎡



工場完成イメージ

社会貢献活動

Social Activity

アーレスティの森林づくり活動スタート

森林づくり活動は、環境保護の一環としてCO₂削減に貢献するため「企業の森づくり」に協賛し、森林整備を行います。2007年6月に、埼玉県越生町に「アーレスティの森」を持ち、埼玉県と森林所有者、当社で協定を結びました。

株式情報

Stock Information

■株式状況 (平成19年9月30日現在)

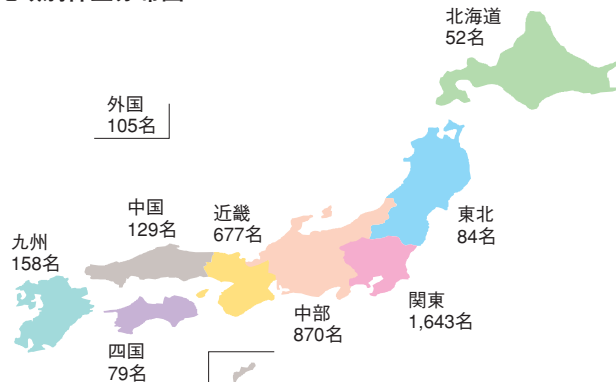
● 株式数および株主数

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	21,778,220株
株主数	3,797名

■大株主 (上位10名)

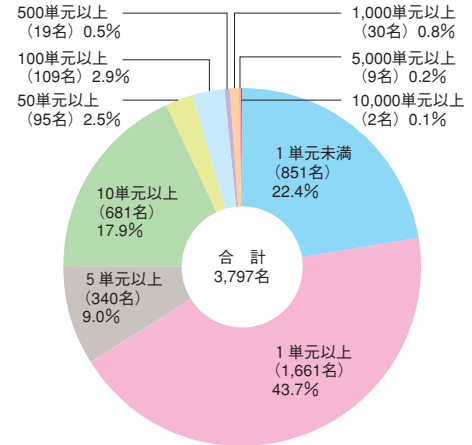
株主名	持株数(株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	1,372,400
高橋利江	1,075,647
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	866,650
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	817,800
株式会社三菱東京UFJ銀行	765,955
本田技研工業株式会社	672,755
日本軽金属株式会社	657,392
スズキ株式会社	565,767
株式会社みずほコーポレート銀行	544,375
富士重工業株式会社	509,490

地域別株主分布図

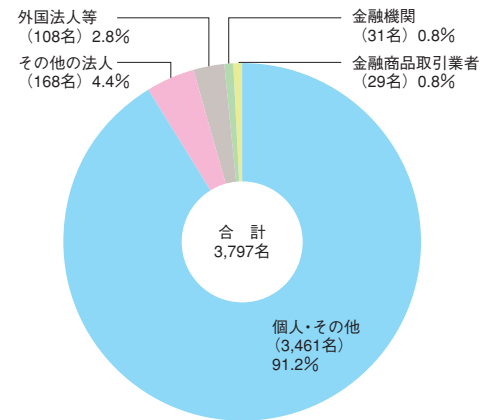


■株式の分布状況

所有株式数別株主分布



所有者別株主分布



会社の概要

Corporate Information

■会社概要 (平成19年9月30日現在)

商号	株式会社 アーレスティ	
設立	昭和18年11月2日	
資本金	51億1,759万円	
発行可能株式総数	60,000,000株	
発行済株式の総数	21,778,220株	
株主数	3,797名	
従業員数	1,018名	
企業集団の従業員の状況		
		従業員数
ダイカスト事業	3,309名	
アルミニウム事業	54名	
完成品事業	35名	
全社(共通)	171名	
計	3,569名	

取締役および監査役の氏名 (平成19年9月30日現在)

取締役社長	高 橋	新
取締役	小 木	旭
取締役	林	禎 一
取締役	古 屋	茂
取締役	宮 内	忠 一
常勤監査役	宇 野	信 夫
常勤監査役	熊 木	勉
監査役	早乙女	唯 夫
監査役	志 藤	昭 彦

■事業拠点一覧 (平成19年9月30日現在)

当社本社・工場

名 称	所 在 地
本社	〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1
東松山工場	〒335-0812 埼玉県比企郡滑川町大字都25-27
熊谷工場	〒360-8543 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原284-11
浜松工場	〒433-8520 静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
豊橋工場	〒441-3153 愛知県豊橋市二川町字東向山80番地
テクニカルセンター	〒441-3114 愛知県豊橋市三弥町中原1-2
大阪管理センター	〒566-0055 大阪府摂津市新在家1-27-21

当社営業所

名 称	所 在 地
関東営業所	〒105-0003 東京都港区西新橋2-39-3
浜松営業所	〒433-8520 静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
大阪/関西営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-23-26
福岡営業所	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-13-6
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町5-43-14
栃木営業所	〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
名古屋営業所	〒446-0054 愛知県安城市三河安城本町2-11-7
熊本営業所	〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内36

子会社

名 称	所 在 地
(株)アーレスティ栃木	〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
(株)アーレスティ熊本	〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内36
(株)アーレスティ山形	〒992-0832 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙65
(株)アーレスティ ダイモールド浜松	〒431-1104 静岡県浜松市西区桜台5-3-10
アーレスティ ウイルミントンCORP.	2627 S.South Street, Wilmington, Ohio 45177, U.S.A.
広州阿雷斯提汽車 配件有限公司	中華人民共和国広東省広州経済技術開発区永和経済区 新豊路7号

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告の方法	公告記載URL http://www.ahresty.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

○株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-244-479(三菱UFJ信託銀行本店証券代行部)
0120-684-479(三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) } 通話料無料

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

○配当金のお受取方法について

振込口座をご指定されておられない株主様には従来、「郵便振替支払通知書」にて配当金をお受取り頂いておりましたが、平成19年10月1日に日本郵政公社が民営化されたことに伴い、「郵便振替支払通知書」に代わって「配当金領収証」にて配当金をお受取り頂くこととなりました(従前のとおり、最寄のゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口にて配当金をお受取り頂くことができます)。



当社ホームページ

<http://www.ahresty.co.jp/>

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様へ最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。

Research Service Technology

株式会社 アーレスティ

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F

TEL.03-5332-6001 FAX.03-5332-6037

URL. <http://www.ahresty.co.jp>



古紙/パルプ配合率100%を使用しています。 本誌は大豆油インキで印刷しています。



EMS Accreditation
RE014



EMS Registration
JUSE-EG-048

ISO14001:2004認証取得

本社、浜松工場、東松山工場、
熊谷工場、豊橋工場、
テクニカルセンター、
株式会社アーレスティ栃木、
株式会社アーレスティ熊本、
株式会社アーレスティ山形



OS Accreditation
R008



OS Registration
JUSE-RA-053
JUSE-RA-057

ISO9001:2000認証取得

JUSE-RA-053
本社(但し、商品営業部を除く)、
浜松工場(但し、海外支援室を除く)、東松山工場、
豊橋工場、熊谷工場、技術部、マグネシウム事業部、
株式会社アーレスティ栃木(製造担当)、
株式会社アーレスティ熊本(製造担当)、
株式会社アーレスティ山形

JUSE-RA-057
商品営業部及び関連組織